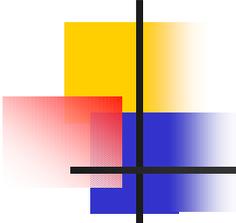


平成18年3月期
中間決算説明会

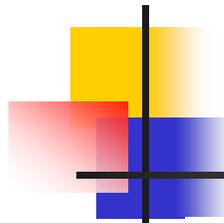
 **ダイセル化学工業株式会社**

2005年11月7日



目次

平成18年度3月期中間期実績	P3 ~ P11
業績概要	P3
連結の範囲	P4 ~ P5
連結損益計算書	P6
売上高・営業利益分析	P7
セグメント情報	P8 ~ P11
平成18年3月期見通し	P12 ~ P27
業績見通し	P12 ~ P13
売上高・営業利益推移	P14
売上高・営業利益分析	P15
セグメント情報	P16 ~ P23
設備投資額推移	P24
主な設備投資	P25
減価償却費推移	P26
研究開発費推移	P27
連結貸借対照表	P28
総資産・有利子負債推移	P29
ROA推移	P30
対中期計画	P31
(参考)平成18年3月期中間期 単体の部門別売上高	P32
(参考)平成18年3月期 単体の部門別売上高見通し	P33
予測に関する注意事項	P34



業績概要

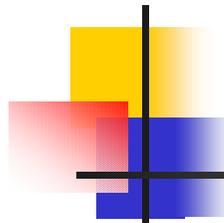
(単位: 億円)

	前年 中間期	当中間期	増減	増減率
売上高	1,478	1,592	+113	+7.7%
営業利益	134	150	+17	+12.5%
経常利益	119	142	+23	+19.3%
当期純利益	52	70	+18	+33.4%

為替レート

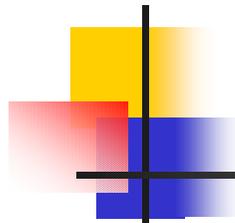
109円

107円



連結の範囲

	前期	当中間期	増減
連結 子会社数	46社	51社	+5社
持分法適用 会社数	17社	17社	なし
計	63社	68社	+5社



連結の範囲(連結子会社増加内訳)

- Polyplastics (Shanghai) Ltd.
中国ローカル市場へのエンジニアプラスチックの販売
- Daicel Safety Systems Europe Sp. z o. o.
自動車エアバッグ用インフレータの生産販売
- Daicel Safety Systems (Jiangsu) Co.,Ltd.
自動車エアバッグ用インフレータの生産販売
- Daicel Safety Technologies America,Inc.
自動車エアバッグ用インフレータ部品の生産
- Daicel Safety Technologies (Thailand) Co.,Ltd.
自動車エアバッグ用インフレータ部品の生産

連結損益計算書

単位 億円

	前年中間期	当中間期	増減	備考
売上高	1,478	1,592	113	為替 7
売上総利益	390	407	17	
販売費及び 一般管理費	256	257	0	
営業利益	134	150	17	為替 2
営業外損益	14	8	6	東京本社移転費用減
経常利益	119	142	23	
特別損益	7	0	6	
税金等調整前 中間純利益	113	142	29	
法人税等、 少数株主利益	60	72	12	
中間純利益	52	70	18	
為替	109円	107円		

売上高・営業利益分析

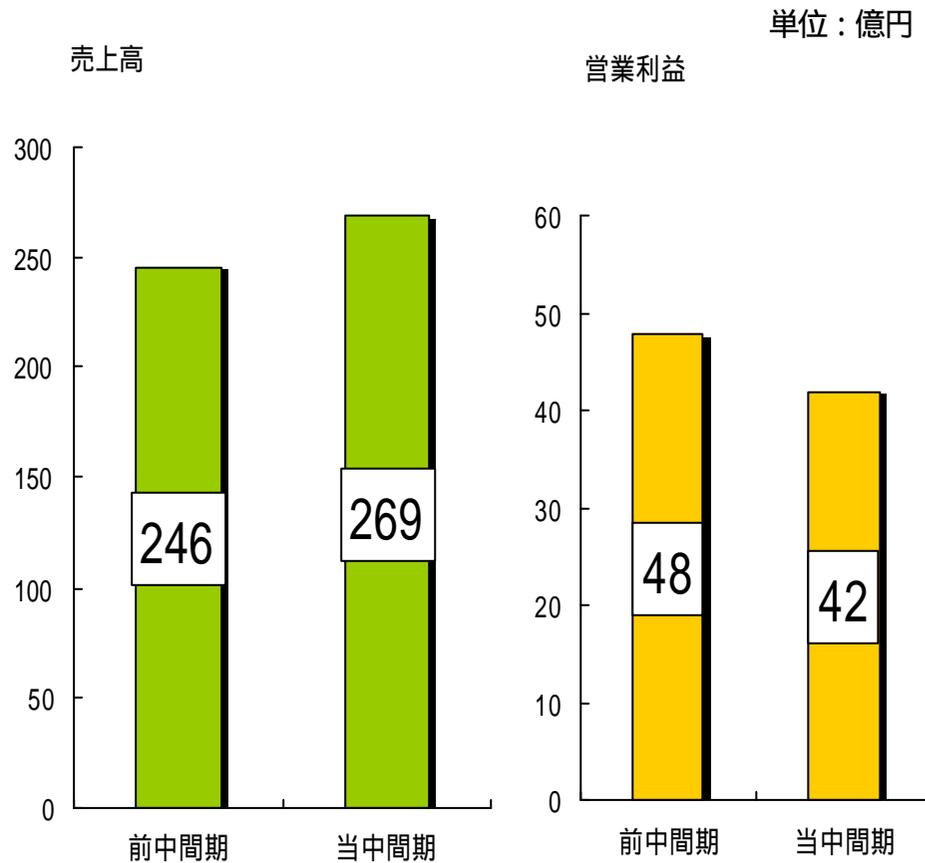
【売上高】 単位：億円

	前年 中間期	当中間期	増減	分 析	
				数量差	単価差
セルロース	246	269	23	19	4
有機合成	378	405	27	11	38
合成樹脂	649	690	41	9	32
火工品	172	191	18	26	7
その他	33	38	4	4	
合 計	1,478	1,592	113	46	67

【営業利益】 単位：億円

	前年 中間期	当中間期	増減	分 析		
				数量影響	価格影響	その他
セルロース	48	42	6	5	10	1
有機合成	26	43	17	4	8	5
合成樹脂	65	65	1	2	2	1
火工品	32	32	0	16	6	10
その他	2	4	2	2	0	0
全 社	38	36	2	0	0	2
合 計	134	150	17	24	5	2

セルロース事業セグメント



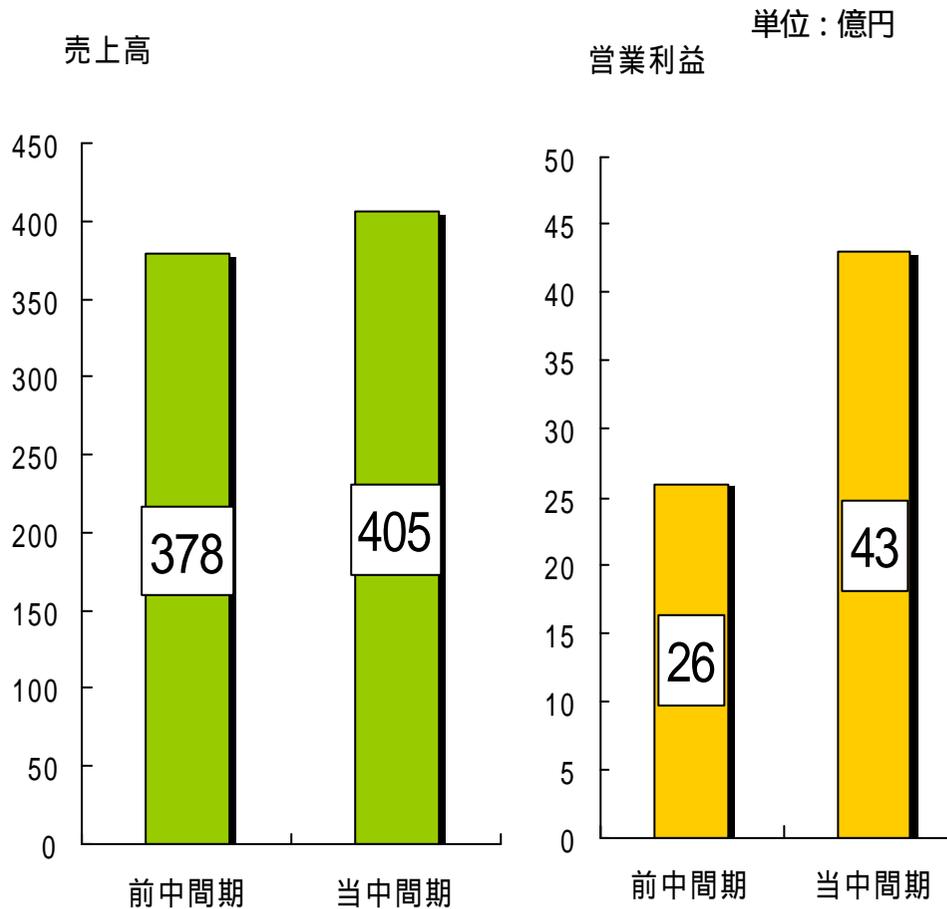
売上高
 LCDフィルム用TAC順調
 に拡大 +11億円

・YAC西安向け販売増等により
 +8億円

・FT国内減、輸出増により
 +4億円

営業利益
 原燃料価格の上昇により減益

有機合成事業セグメント



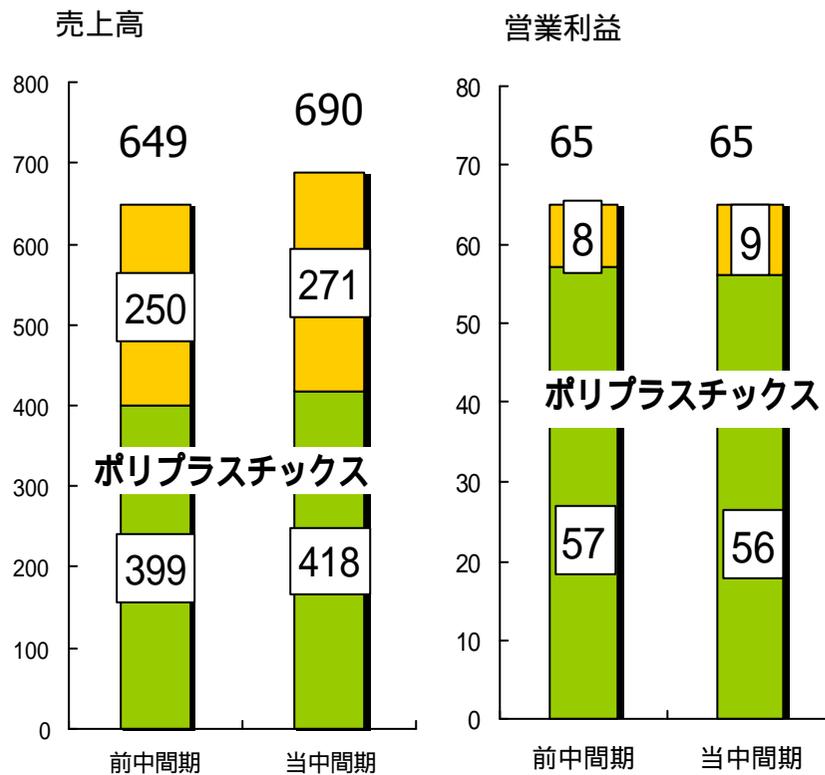
売上高
 酢酸需給タイト + 9億円

 汎用品、機能品販売価格是正
 + 15億円

 営業利益
 販売価格是正と一部不採算品
 の整理により増益

合成樹脂事業セグメント

単位：億円



売上高

・ポリプラスチック数量減を販売価格
是正でカバー +19億円

・コンパウンド事業 +15億円、フィルム
事業 +3億円

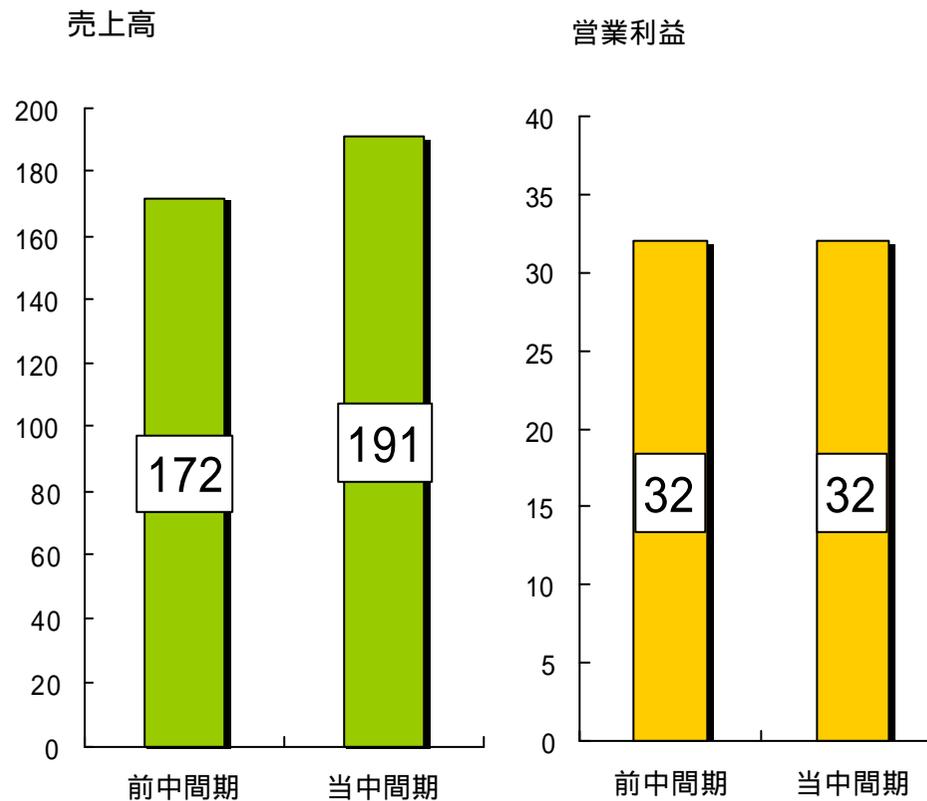
営業利益

・ポリプラスチック数量減を販売価格
是正でカバーし微減

・その他樹脂子会社は原料価格高騰を
販売価格転嫁により横ばい

火工品事業セグメント

単位：億円



売上高

・MSD事業 +28億円
 インフレータ販売数量
 770万個 1,008万個

・特機事業 10億円
 下期への販売時期ずれ

営業利益

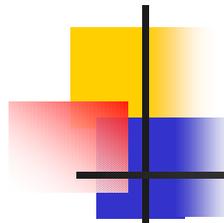
・MSD事業 +2億円

・特機事業 2億円

平成18年3月期業績見通し

前提条件

		前上期実績	前下期実績	当上期実績	当下期計画
為替レート		109円	107円	107円	105円
原料	メタノール (欧米コントラクト価格)	1Q \$240	3Q \$300	1Q \$300	3Q \$280
		2Q \$270	4Q \$300	2Q \$280	4Q \$260
	原油 (バイ)	\$35	\$37	\$52	\$60
	国産ナフサ	30,300円	34,000円	37,700円	45,000円



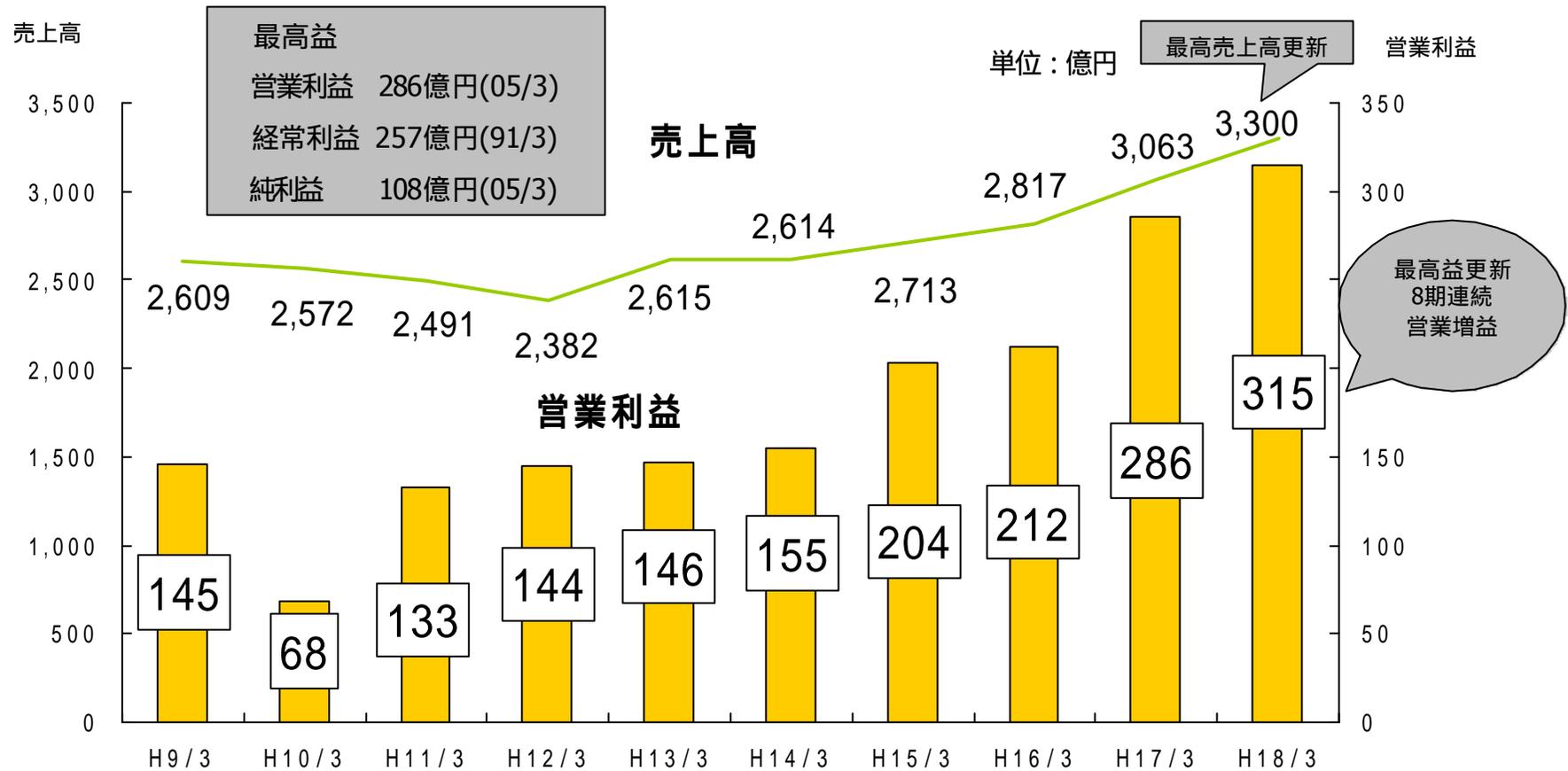
平成18年3月期業績見通し

(単位:億円)

	前期実績	当期見通し	増減	増減率
売上高	3,063	3,300	+237	+7.7%
営業利益	286	315	+29	+10.3%
経常利益	252	290	+38	+15.3%
当期純利益	108	130	+22	+19.9%

売上高・営業利益推移

売上高、営業利益、経常利益、純利益とも、過去最高更新見通し



売上高・営業利益分析

【売上高】

単位：億円

	平成17年3月期 実績	平成18年3月期 見通し	増減	分 析	
				数量差	単価差
セルロース	501	544	43	31	11
有機合成	791	821	30	24	54
合成樹脂	1,334	1,407	73	6	67
火工品	366	444	78	102	24
その他	71	84	13	13	
合 計	3,063	3,300	237	129	108

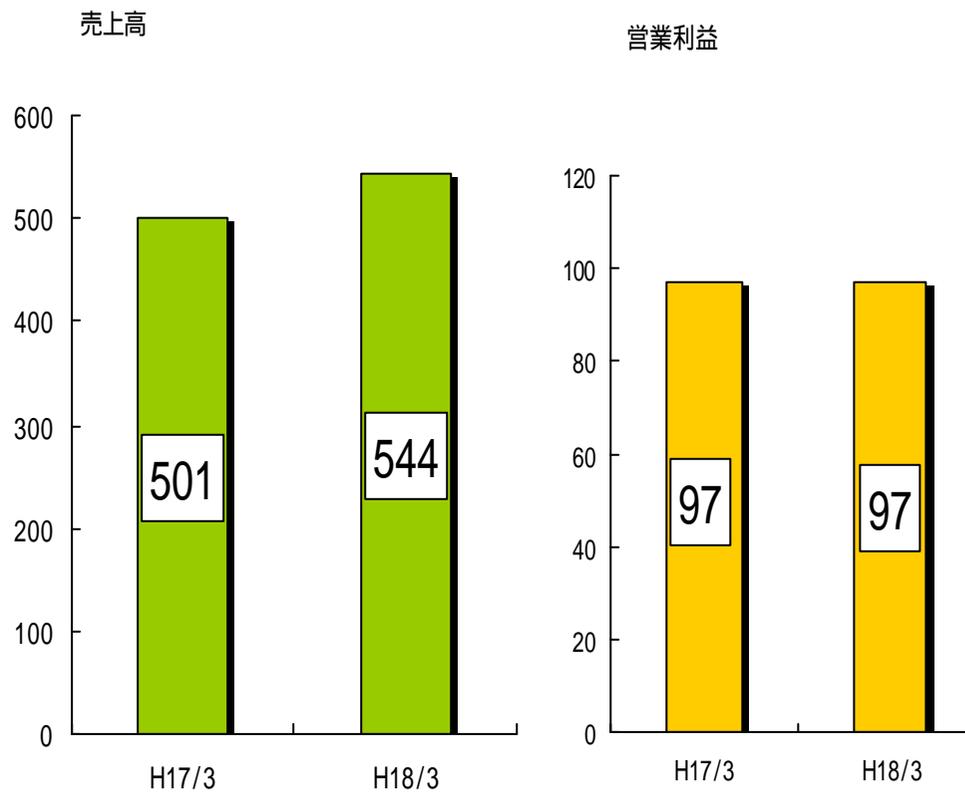
【営業利益】

単位：億円

	平成17年3月期 実績	平成18年3月期 見通し	増減	分 析		
				数量影響	価格影響	その他
セルロース	97	97	0	15	19	5
有機合成	69	82	13	2	3	8
合成樹脂	130	133	3	8	14	3
火工品	65	68	3	42	18	22
その他	5	13	8	8	0	0
全 社	80	78	2	0	0	2
合 計	286	315	29	59	21	9

セルロース事業セグメント

単位：億円

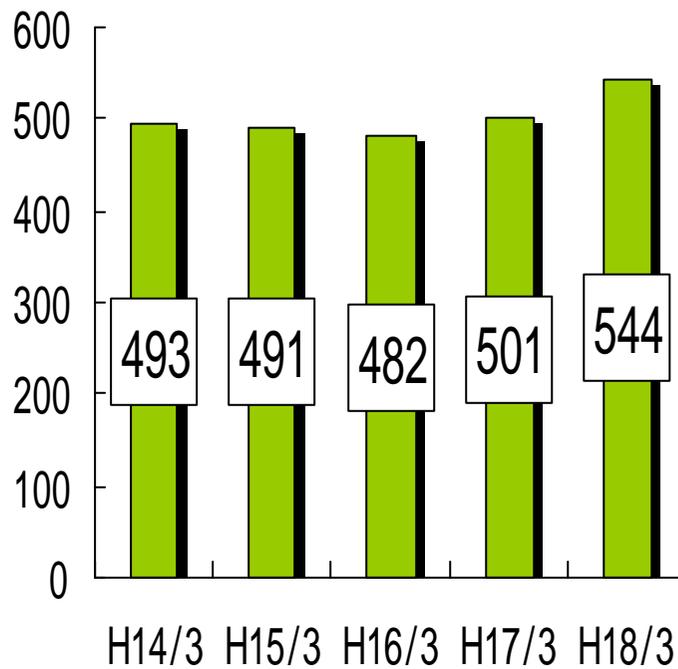


酢酸セルロースはTACがLCDフィルム
 向けの伸び、YACが値上げ、たばこフィ
 ルター用アセテート・トウは大手メー
 カーへの輸出増により増収、営業利益
 は原燃料高騰の影響で微増

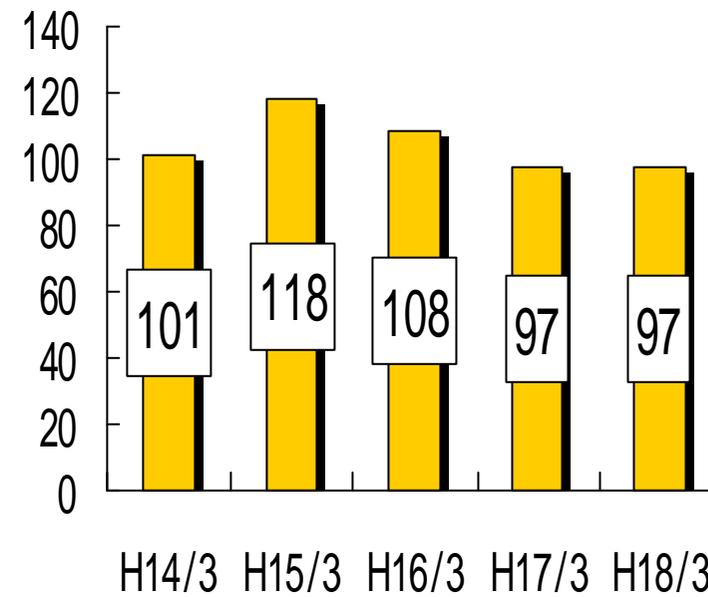
セルロース事業セグメント

単位：億円

売上高

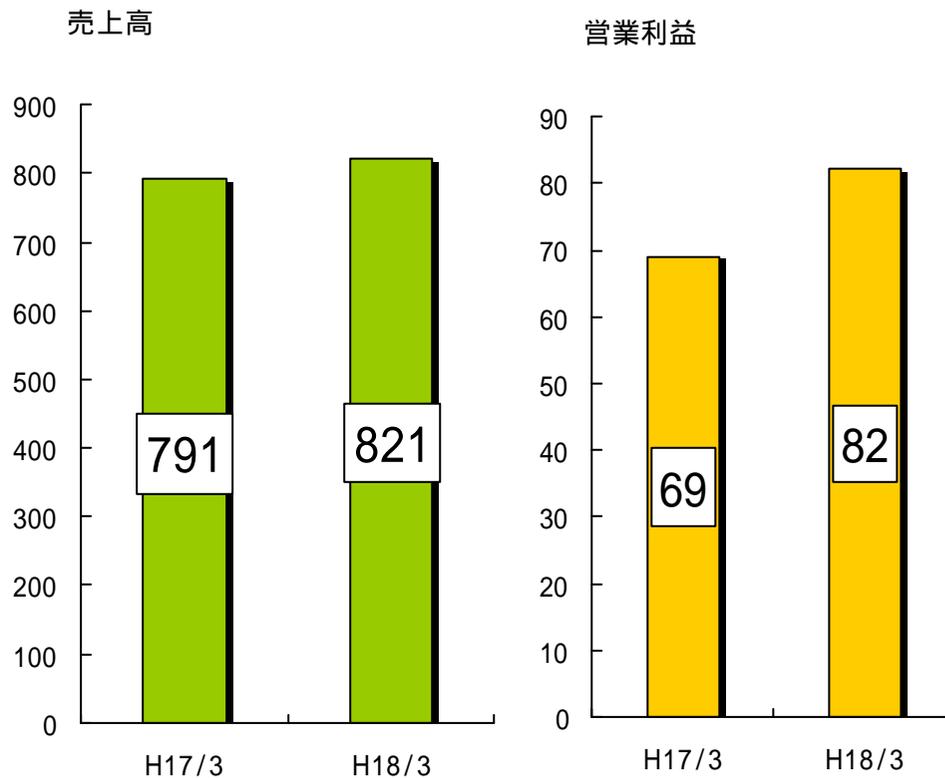


営業利益



有機合成事業セグメント

単位：億円

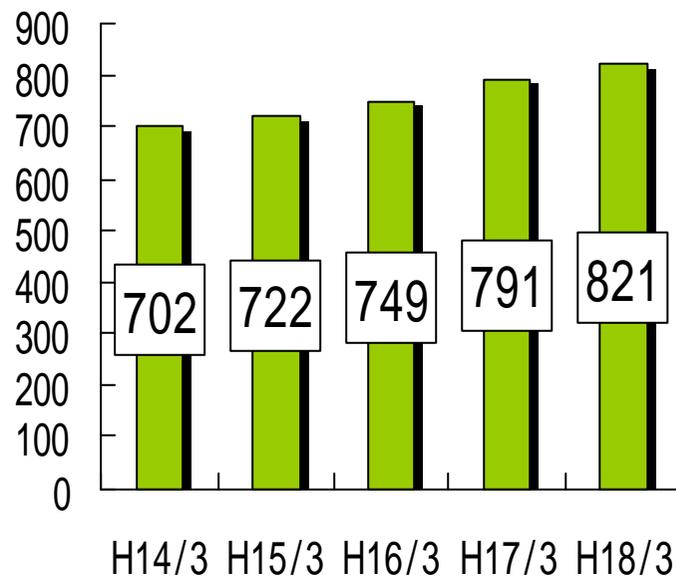


- ・販売価格是正による増収
- ・原燃料価格上昇分の販売価格転嫁が最重要課題
- ・一部不採算品の販売停止

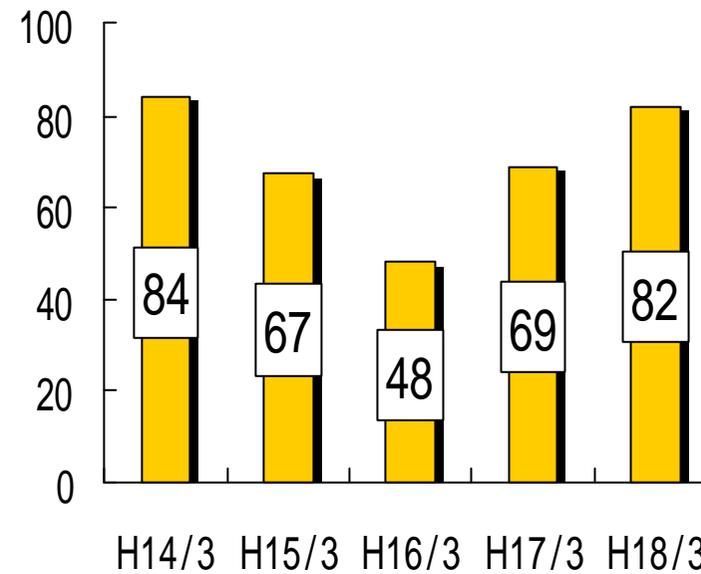
有機合成事業セグメント

単位：億円

売上高

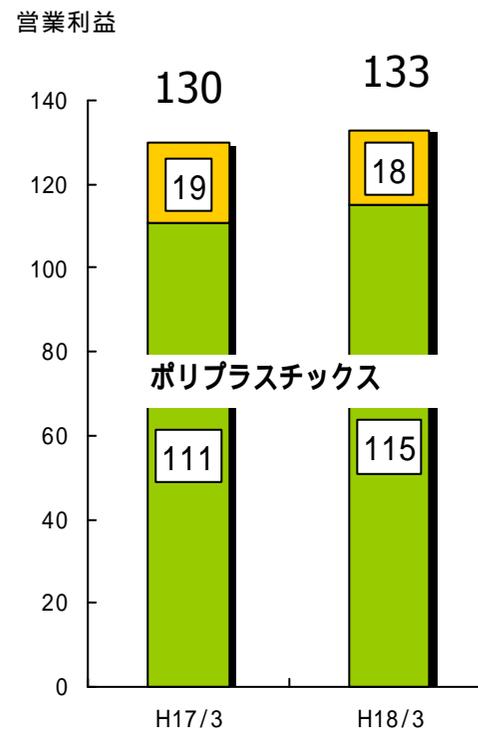
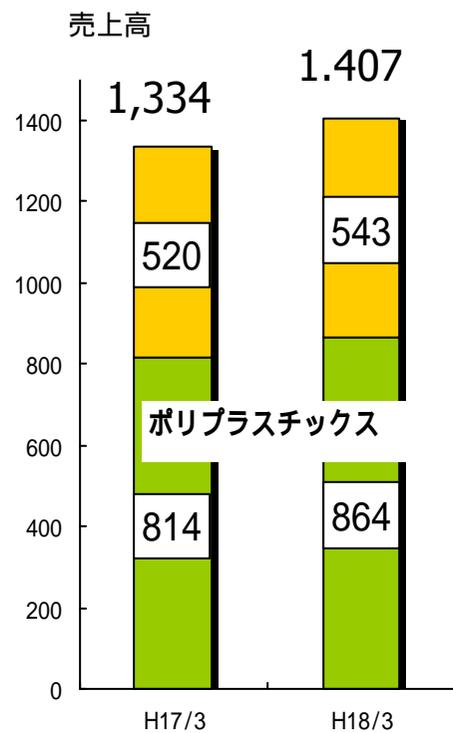


営業利益



合成樹脂事業セグメント

単位：億円

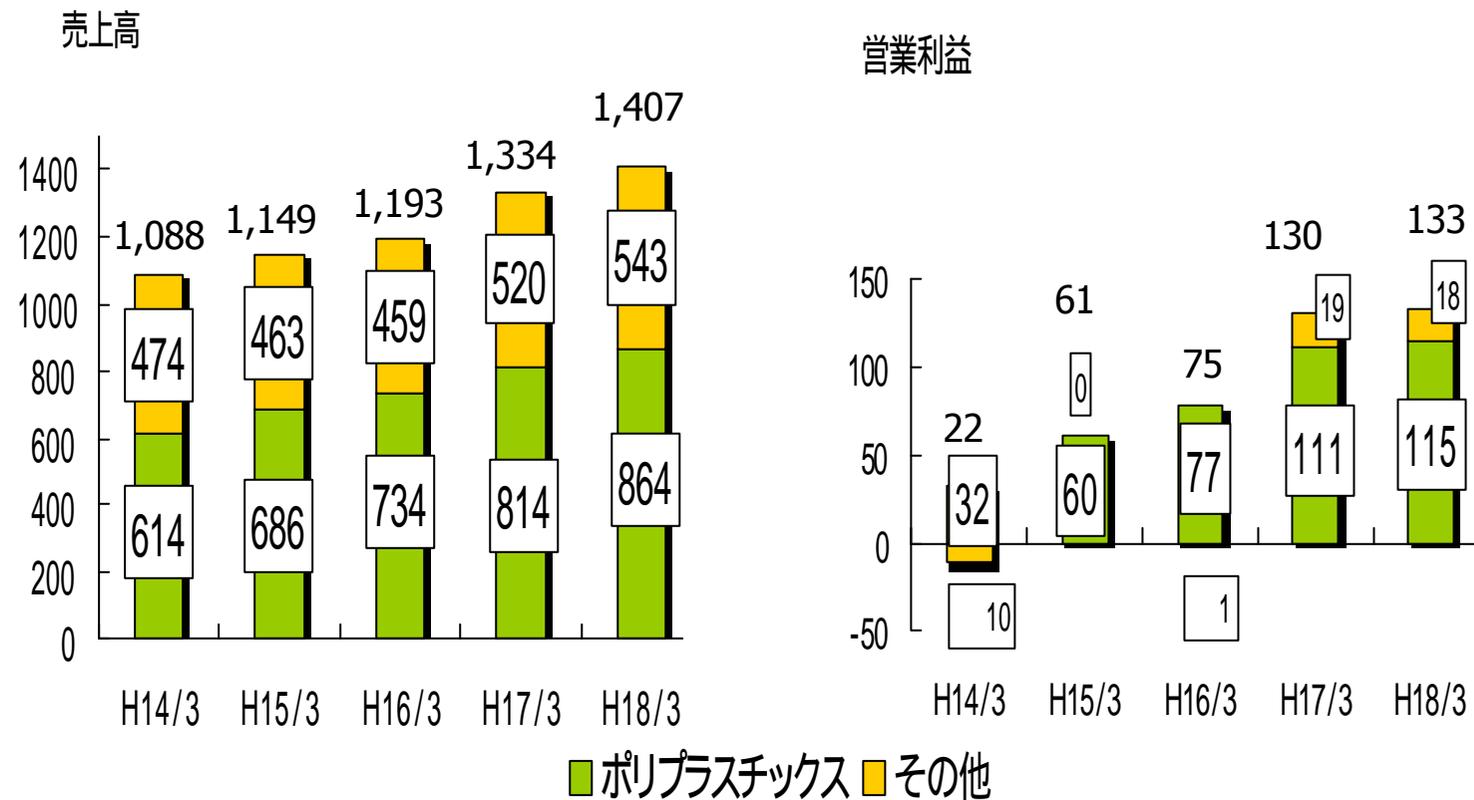


販売価格是正により増収

ポリプラ南通新プランHは10月稼動

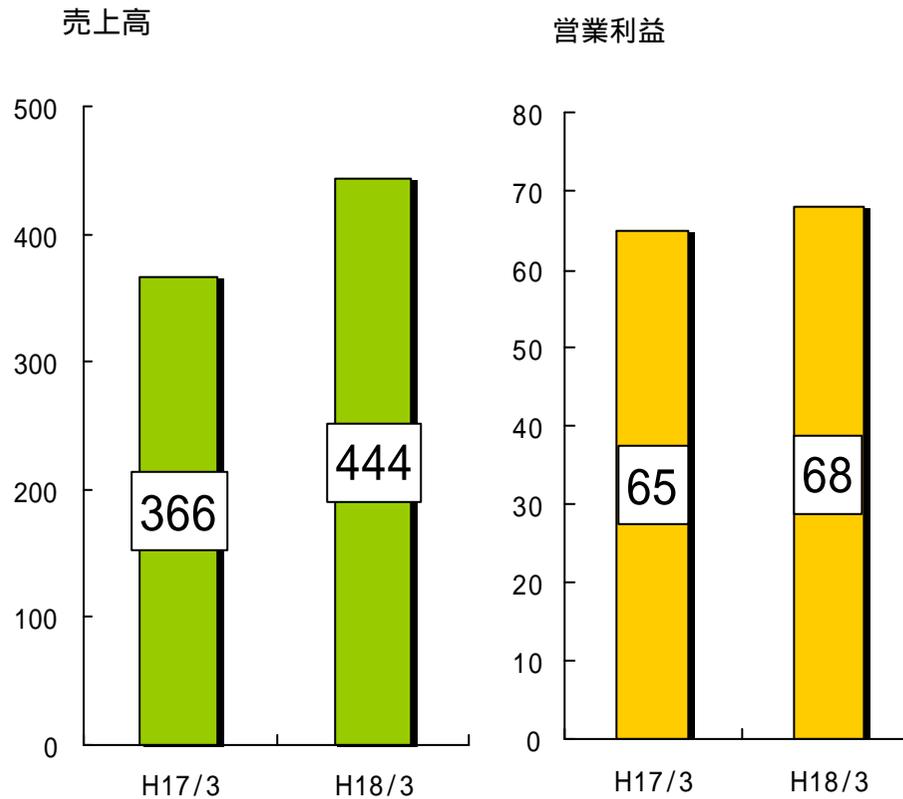
合成樹脂事業セグメント

単位：億円



火工品事業セグメント

単位：億円



売上高

- ・MSD事業 +77億円
- インフレーター販売数量
1,661万個 2,400万個

- ・特機事業 +1億円

営業利益

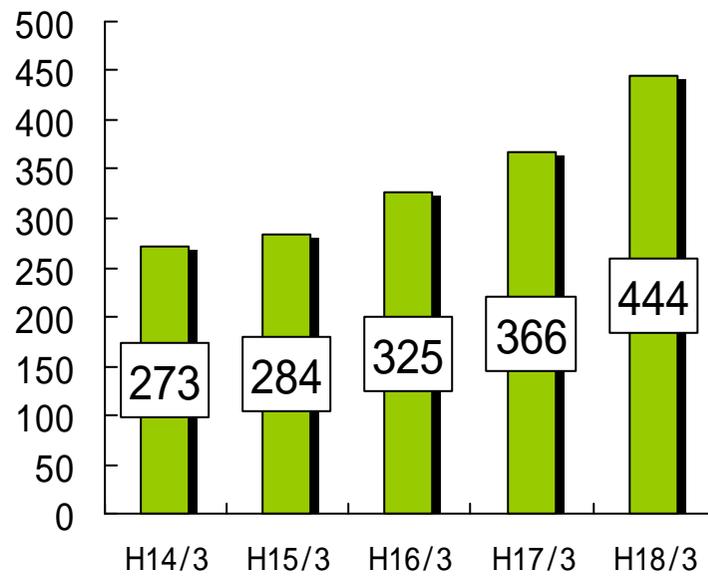
- ・MSD事業 +3億円

- ・特機事業 +0億円

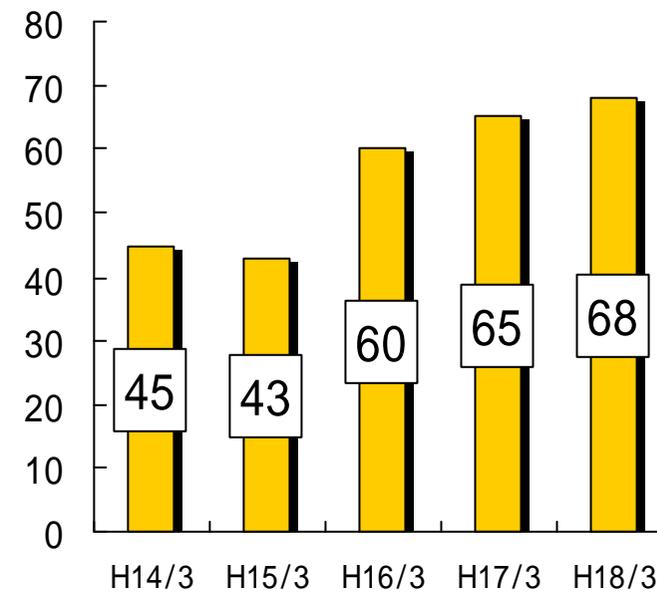
火工品事業セグメント

単位：億円

売上高

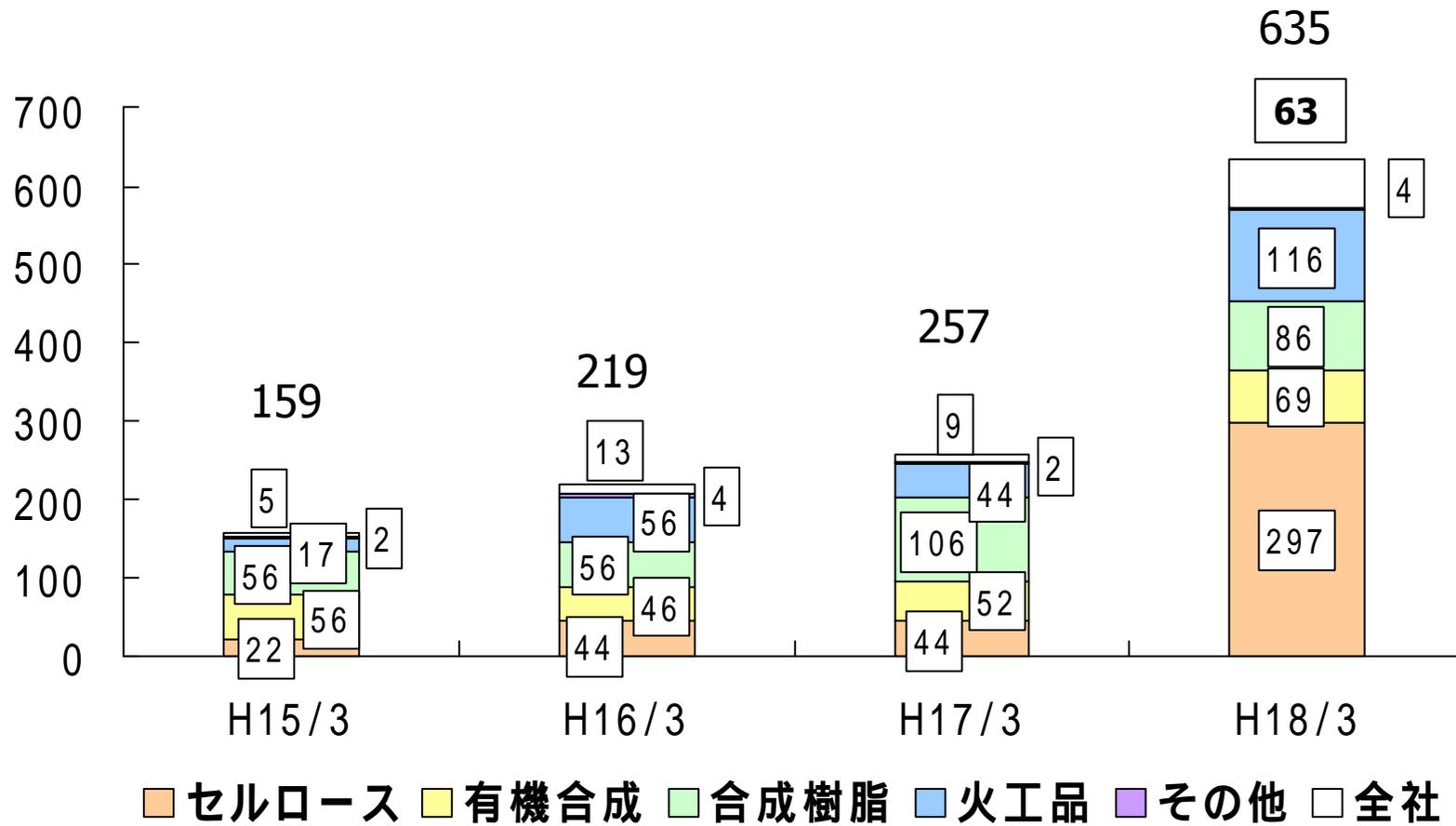


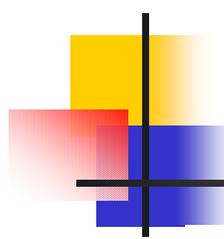
営業利益



設備投資額推移

単位：億円



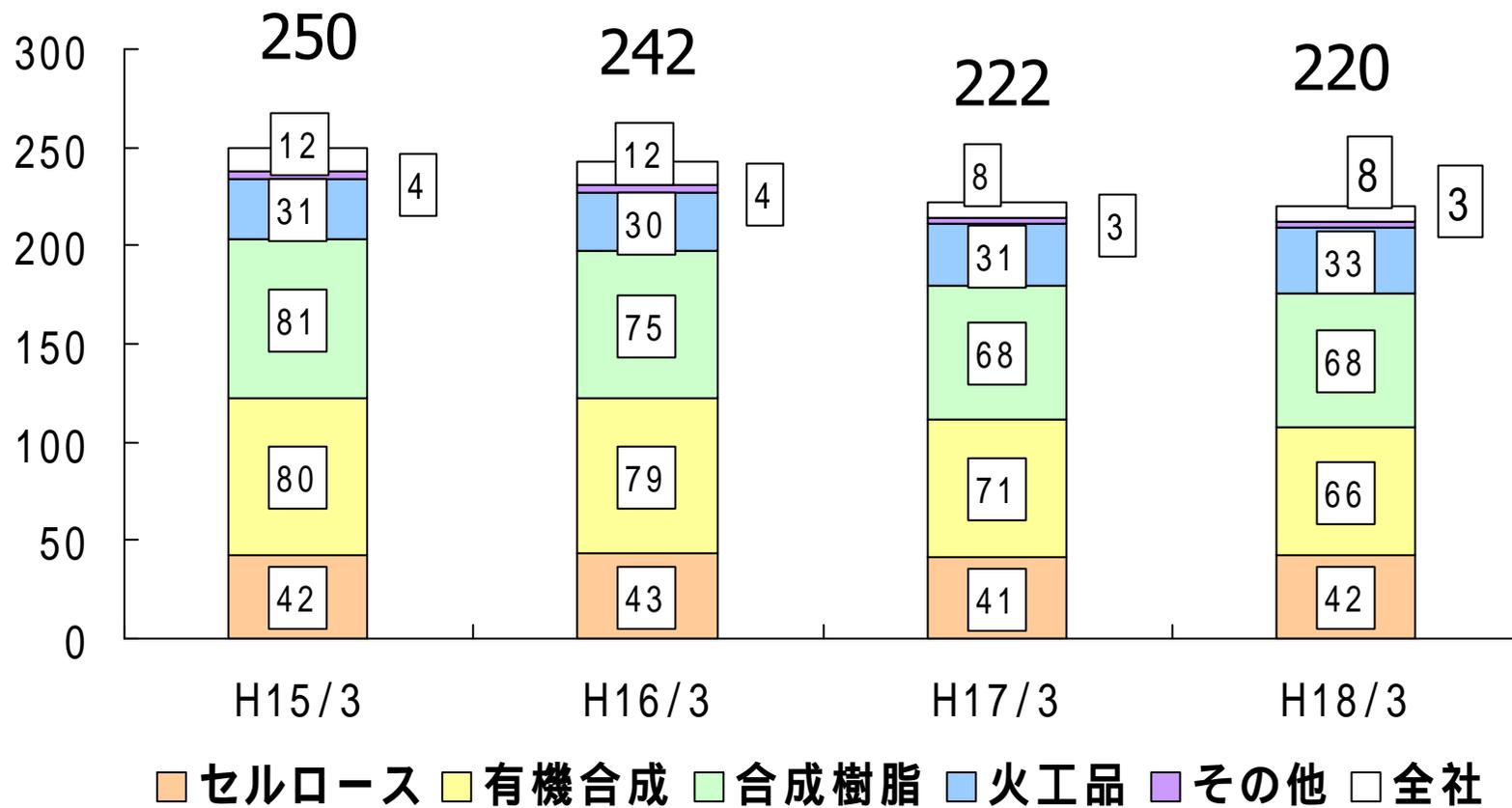


主な設備投資(持分法会社分含む)

- セルロース事業
 - 液晶表示用フィルム向け酢酸セルロース専用設備新設(姫路製造所網干工場(兵庫県姫路市))
 - たばこフィルター用アセテート・トウ事業の移転増強(大竹工場(広島県大竹市))
 - 中国たばこフィルター用アセテート・トウ増強(西安恵大化学工業(中国西安市))
 - 中国たばこフィルター向け酢酸セルロース設備新設(寧波大安化学工業(中国寧波市))
- 有機合成事業
 - 中国無水酢酸設備新設(寧波大安化学工業(中国寧波市))
- 火工品事業
 - インフレータ設備増強(播磨工場(兵庫県たつの市)、DSSA(米国ケンタッキー州)、DSST(タイ))
 - インフレータ設備新設(DSSE(ポーランド)、DSSC(中国丹陽市))

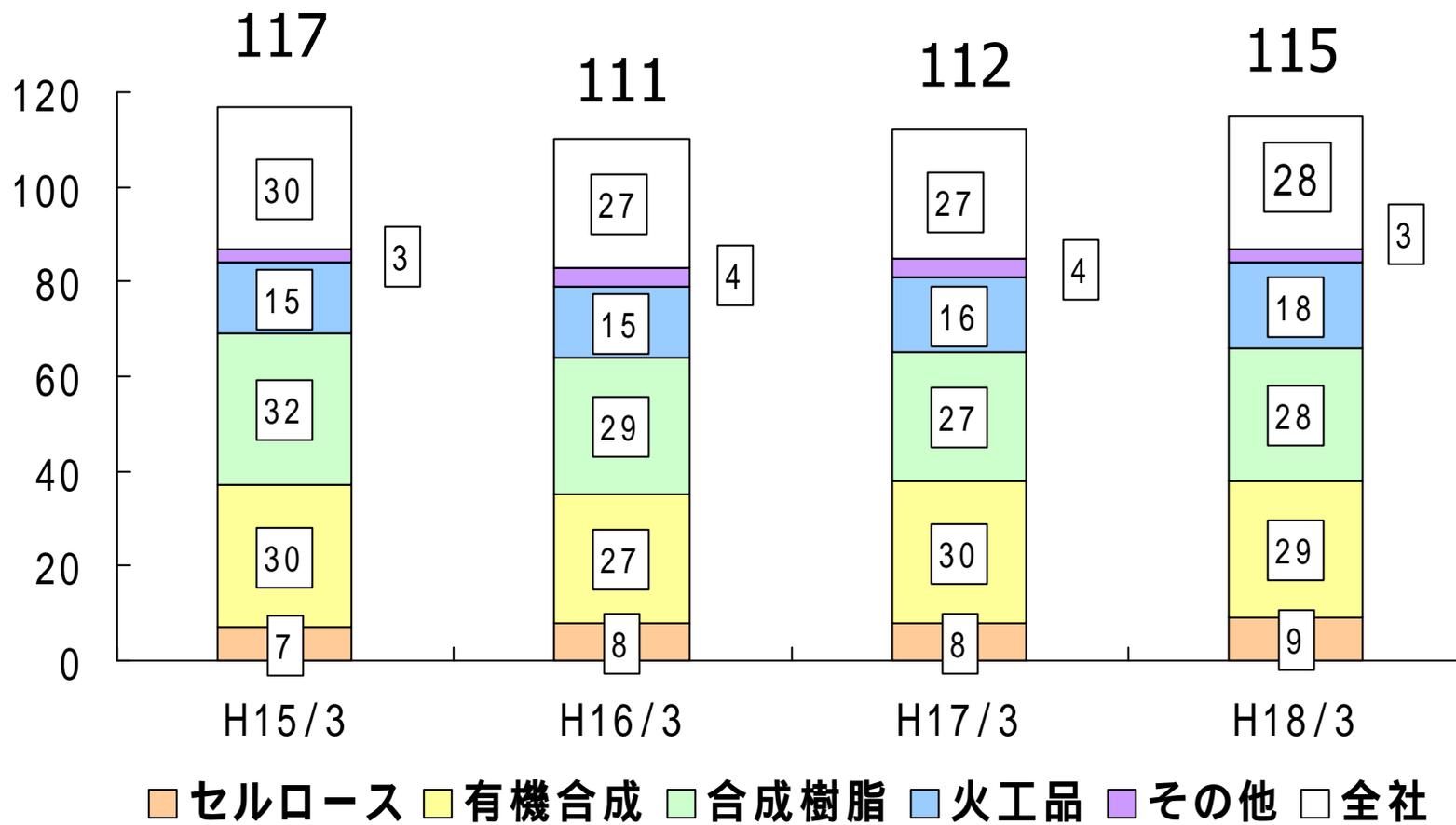
減価償却費推移

単位：億円



研究開発費推移

単位：億円

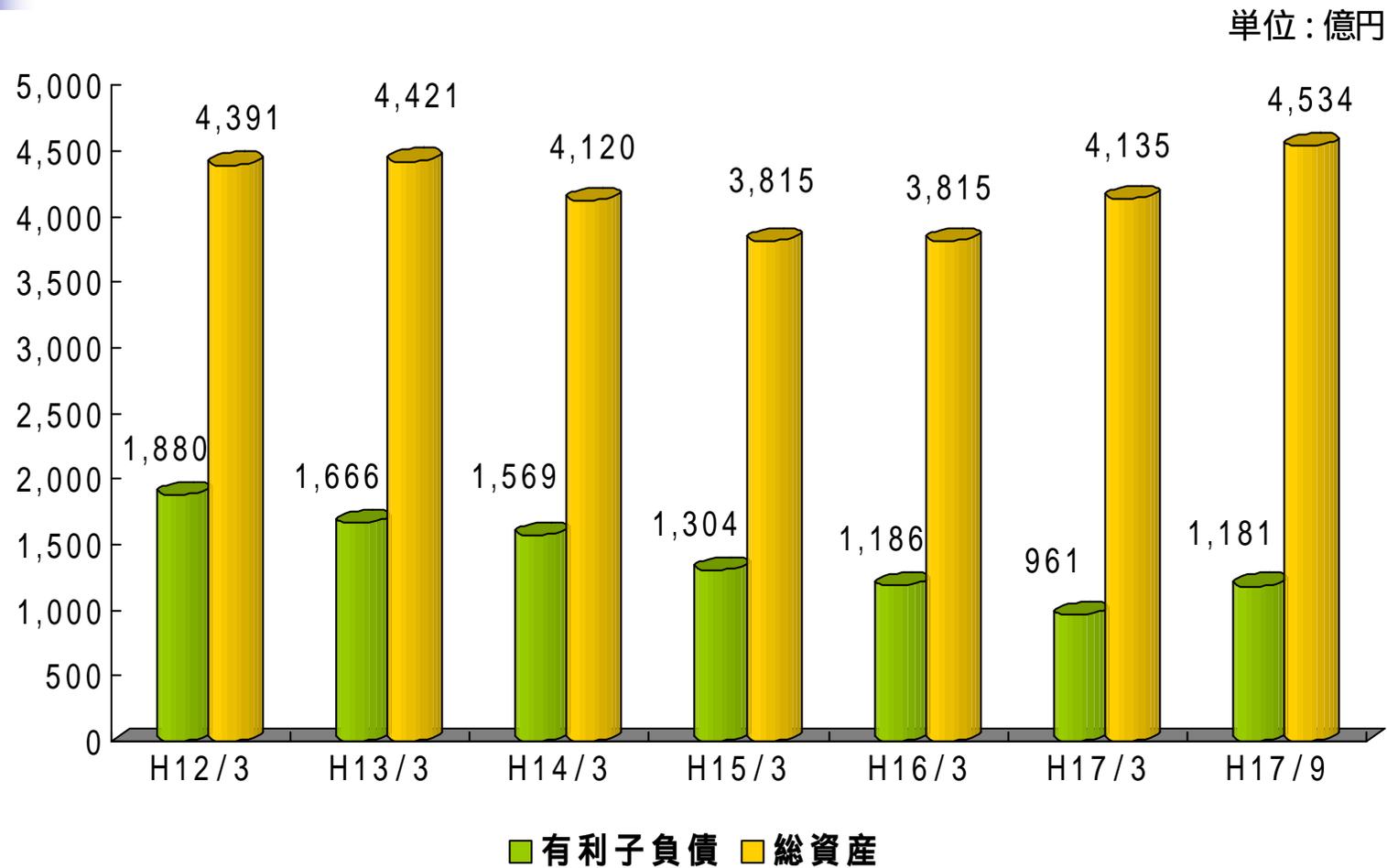


連結貸借対照表

単位 億円

	H17年3月末	H17年9月末	増減	備 考
流動資産	1,605	1,623	+18	
現金及び預金	154	169	+15	
受取手形及び売掛金	777	752	25	
たな卸資産	517	562	+45	
その他	157	140	17	
固定資産	2,530	2,910	+381	
有形固定資産	1,650	1,953	+303	新規取得 + 421
無形固定資産	75	78	+3	
投資その他資産	805	879	+74	投資有価証券 + 60
資産合計	4,135	4,534	+399	
負債	2,137	2,407	+270	
有利子負債	961	1,181	+221	有利子負債比率 26.1%
その他	1,176	1,226	+50	
少数株主持分	286	297	+11	
資本	1,712	1,830	+118	
負債 資本合計	4,135	4,534	+399	

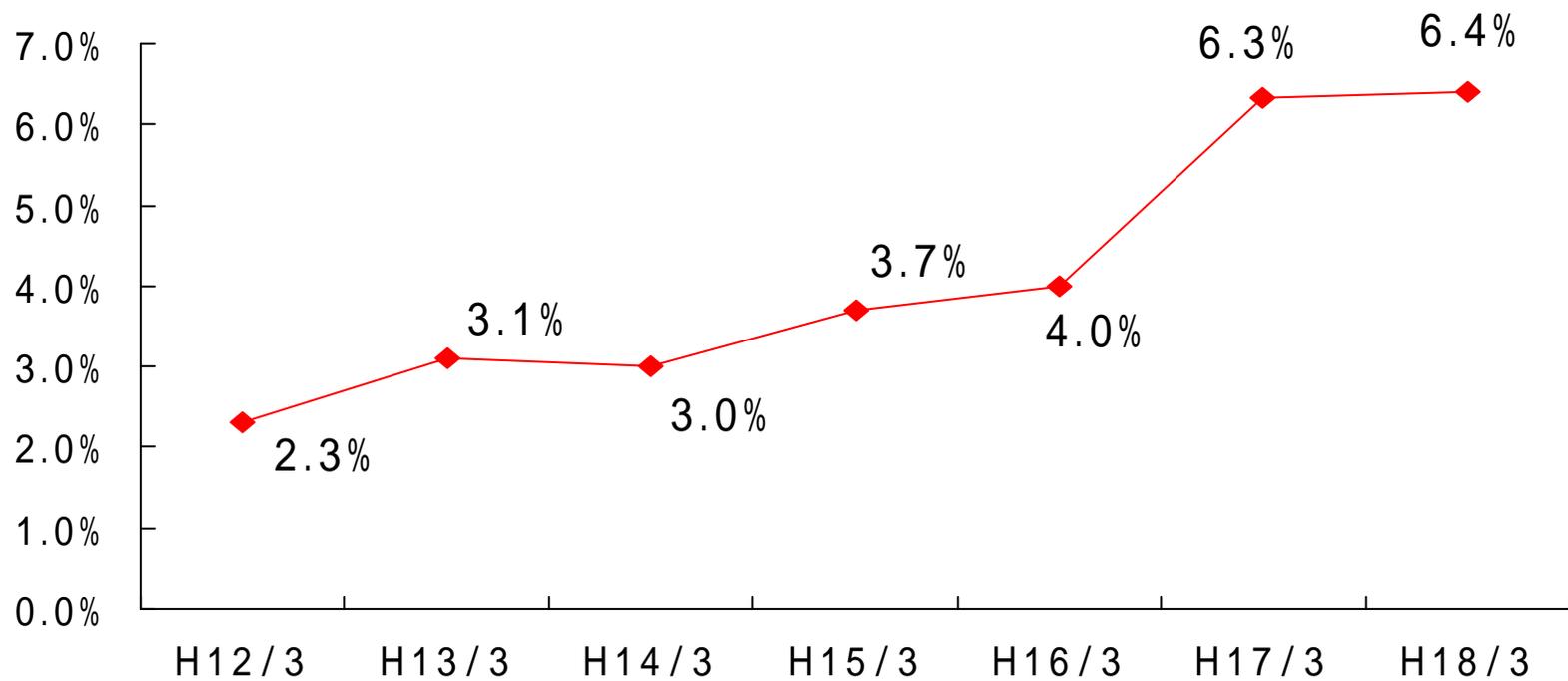
総資産・有利子負債推移



ROA(総資産経常利益率)推移

中期目標: H19/3までに6%を超える。

H17/3前倒しで達成



対 中期計画(全社)

単位：億円

	中期計画 H17/3月期	実績 H17/3月期	中期計画 H18/3月期	見通し H18/3月期	中期計画 H19/3月期
売上高	2,880	3,063	3,040	3,300	3,230
営業利益	240	286	280	315	320
経常利益	200	252	240	290	280
ROA	5.2%	6.3%	6.0%	6.4%	6.9%

中期計画前提 為替：120円/\$ メタノール：\$160

(参考)
 平成18年3月期中間期 単体の部門別売上高

単位:億円

	前中間期	当中間期	増減額	増減率	主な変動要因
売上高 総合計	799	872	+ 73	+ 9.2%	
セルロース	234	256	+ 22	+ 9.4%	
セルロース	106	125	+ 19	+ 18.3%	LCD用TAC順調
フィルター	110	113	+ 3	+ 2.3%	
WSP	19	19	+ 0	+ 0.4%	
有機合成	408	431	+ 23	+ 5.7%	
有機合成品	310	328	+ 19	+ 6.0%	価格是正
有機機能製品	81	84	+ 3	+ 4.2%	
CPI	17	18	+ 1	+ 7.6%	
火工品	153	172	+ 20	+ 12.8%	
エアバッグ用インフレタ	125	153	+ 28	+ 22.5%	販売数量増
特機	28	20	8	30.0%	時期ずれ
その他	4	12	+ 8	+ 211.0%	
その他	4	12	+ 8	+ 211.0%	半導体レジスト材料売上計上

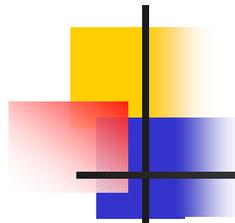
(為替レート) (110円) (110円)

(参考)
平成18年3月期 単体の部門別売上高見通し

単位:億円

	H17/3	H18/3	増減額	増減率	主な変動要因
売上高 総合計	1,677	1,830	+ 153	+ 9.1%	
セルロース	481	524	+ 43	+ 8.9%	
セルロース	223	252	+ 29	+ 13.2%	LCD用TAC順調
フィルター	222	233	+ 11	+ 4.9%	
W SP	37	39	+ 2	+ 6.5%	
有機合成	857	877	+ 20	+ 2.3%	
有機合成品	643	667	+ 24	+ 3.7%	価格是正
有機機能製品	167	174	+ 7	+ 4.2%	
CPI	47	36	- 11	- 23.4%	
火工品	328	401	+ 73	+ 22.2%	
エアバッグ用インフレタ	265	336	+ 71	+ 27.0%	販売数量増
特機	63	65	+ 2	+ 2.4%	
その他	10	28	+ 18	+ 174.8%	
その他	10	28	+ 18	+ 174.8%	半導体レジスト材料売上計上

(為替レート) (107円) (107円)



予測に関する注意事項

本資料は情報の提供を目的としており、本資料により何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料は、現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて当社が作成したものではありませんが、リスクや不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。

ご使用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。

この資料の著作権はダイセル化学工業（株）に帰属します。いかなる理由によっても、当社に許可無く資料を複製・配布することを禁じます。